

# 令和6年度 自己評価公表シート

株式会社 みらい樹

深井駅前こども園

## 1. 本園の教育保育理念

児童福祉法に基づき、一人ひとりを大切にし、豊かな人間性を持った子どもを育成する。

『あいさつ・ありがとう・あとかたづけ』を基本に将来社会に役立つ人づくりをめざす

◎安全な環境の中で生活経験を重ね、心身の発達を促す。

◎入園児・保護者に対して最善を尽くし、こどもたちの心身ともに健やかな育成のため設備および運営の向上に努める

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼児期にしかできない「教育」を大切にし、幼児教育の重要性を押さえ、保育で大切にしたいことを教職員全員が共通理解をする。子ども達と共に共感し、学び、挑戦する心を養う。

園児一人ひとりが快適かつ健康で安全に過ごせるようにし、生理的欲求を十分に満たし、健康に過ごせるように、安心感の中で過ごす

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

教育及び保育の内容	保育をより充実をさせていくよう、望ましい子どもの姿の見直しを行い、発達年齢に合わせた保育を行った。得意なことが増えるよう、苦手なことが少くなるよう、チャレンジを大切に保育者と子どもが一緒に取り組んだ。ホームページ・入園説明会等で園の理念・保育方針を伝え、明確にしている。
虐待防止等	区役所や関係機関と連携を持ち、情報提供後は、職員全員で情報を共有し、注意深く配慮した。また、子どものプライバシー保護のに関する規定・マニュアル等を整備し職員に周知と確認を行っている。
健康・衛生管理・事故防止・安全対策	感染症予防の為の手洗い・うがいはもちろんの事、保育室の清掃・消毒は、朝夕行い、清潔な中で保育を行う。 電解水装置を利用し、おもちゃ・おむつ・手洗い等の消毒を徹底した。 コロナ対策として、子ども達は、一方方向に向かって机・椅子を設置し向かい合わないようにし、一人用机を導入した。
保護者との連携	朝夕の送迎時には、必ずあいさつし、毎日の連絡帳で子どもの様子を記入し、変わったことがあると必ず口頭で報告を行った。 コドモンを導入し、アプリを確認すれば、子どもの様子がわかるようにした。
食事の提供	安全かつおいしい食事を提供した。食育・給食を通して、『食べることは生きること』全ての食材には命があり、その命をいただいている人は、生きることを知らせながら感謝をして『いただきます』を実践した。

	<p>園外活動に取り組み、収穫した野菜や果物を昼食で頂き、季節の実りを実感し、好きな食材が増え、食についての関心を深める食育活動を行っている。</p> <p>また、子どもの年齢や発達に応じ、量・形・大きさ等に配慮し一人ひとりの状態に応じたきめ細かい配慮を行っている。</p>
--	---

#### 4. 施設評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

計画や課題を明確に上げて文書化することで、子ども達の姿を保育士が理解し、次へのステップへのつなげる指標となり、全教職員が共通理解をした中で、取り組みの見直しを再構築することができた。

又、ICT化をさらに進め、保護者との連絡帳をアプリにすることで、より園での子どもの姿が伝わり、伝え漏れ等を防ぐことができた。園だより等のプリント類も電子化し、職員の業務省力を推進した。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員の資質向上	園内で実技研修を行い、技術のレベルアップを図る。また年齢による発達をよく理解し、個々の成長への繋ぎを大切にできるよう研修を重ねる。 キャリアアップ研修の実施、一人ひとりのレベルアップを目指す。
安全管理	今までも、定期的に不審者対応や火災など緊急時や災害時における避難訓練の実施をしているが、今後より一層訓練内容を充実させ、対応方法や各職員の役割分担の理解を深め、災害発生に備えていく。また、子ども自身が自分の命を自分で守れるよう考えて行動できるよう育む。
自然災害時の危機管理体制の構築	非常時の危機管理について、子どもの引き渡し方法を含めた災害対応マニュアルを定期的に教職員間で確認を行う。 常に最新のニュースや気象情報を得られるような環境づくりを実施。 ※暑さ指数やPM2.5などの情報も考慮保育を行う。 定期的な避難訓練と共に、災害時の食料や水、薬品類の備蓄などにも留意する。
保護者への情報提供	定期的に個人懇談を実施し、情報収集をするとともに、行事等については、クラス懇談等で意見聴取をする。保護者の負担にならないように配慮する。

#### 6. 施設関係者評価

特に指定すべき事項はなく、妥当であると認められる。

#### 7. 財務状況

公認会計士及び税理士管理の下、適正に運営されていると認められている。